

スポーツ科学部コース 参考資料

スポーツ医科学科

スポーツ医科学コース

本コースはスポーツ科学における諸領域のうちの自然科学系領域を学ぶためのものであり、ここではスポーツ医学、スポーツ生理学、運動生化学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、スポーツ栄養学、トレーニング科学などの、スポーツ科学に係わる基礎分野の理論的な学習の場を提供する。また、これらの理論を踏まえた上で、スポーツ・運動時の生体応答や生体適応ならびに生体における合目的運動経過のメカニズムを解明するための研究技法を教授する。

健康スポーツコース

このコースでは、健康スポーツ科学に関連する広範な学問領域から、心身に及ぼすスポーツや運動の役割に関する基礎知識を学習した上で、規則的なスポーツ活動や身体運動による生活習慣病の予防、高齢者や疾病者における「生活の質」の向上、および心身解放のメカニズムなどに対する理論的解明を行うとともに、スポーツや運動を通じた生涯にわたる心身の健康づくりおよび「生活の質」の向上を実現するための具体的な方法についての教育研究を行う。

トレーナーコース

このコースでは、実学としてのスポーツ科学を教授することを第一義の目的として、スポーツ医科学に係わる基礎知識に基づいて、スポーツ障害の予防、リハビリテーション、トレーニング技法、およびコンディショニングなどの具体的な実践技法の学習の場を提供する。このことにより、競技者のコンディショニングおよび中高年者の健康体力づくりをサポートするアスレティックトレーナーおよび健康医科学トレーナーとして必要な能力、ならびに広く社会一般にスポーツ科学の実践技法を伝播する能力を養う。

トップパフォーマンスコース（スポーツ文化学科の [内容を参照してください。](#)
トップパフォーマンスコースはスポーツ医科学科、スポーツ文化学科いずれに所属しても選択することができます。）

2009年度 スポーツ医科学科 学科専門科目 紹介

学科指定科目		基礎スポーツ医学 生理・運動生理学 スポーツ心理学 バイオメカニクス トレーニング科学 スポーツ栄養学 基礎統計学 公衆衛生学
コース 基礎科目	スポーツ 医科学 コース	スポーツ医科学基礎演習（必修） スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス 運動生化学 スポーツ免疫学 スポーツ医学A（内科系）スポーツ医学B（外科系）スポーツ医学C（精神 神経系） メンタルトレーニング スポーツ医科学実習A スポーツ医科学実習B スポーツ解剖学（基礎） スポーツ解剖学（上肢）スポーツ解剖学（下肢）
	健康 スポーツ コース	健康スポーツ基礎演習（必修） 健康スポーツ原論A（運動処方論）健康スポーツ原論B（健康 スポーツ心理）健康スポーツ原論C（健康スポーツ疫学）
	トレーナー コース	トレーナー基礎演習（必修）アスレティックトレーニング論 スポーツ解剖学（基礎）スポ ーツ解剖学（上肢）スポーツ解剖学（下肢）テーピング実習 コンディショニング論 救急処置 法実習 スポーツ医学A（内科系）スポーツ医学B（外科系）スポーツ生理学 スポーツバイ オメカニクス 健康スポーツ原論A（運動処方論）スポーツ行政論 循環器リハビリテーション
コース 専門科目	スポーツ 医科学 コース	運動制御論 運動療法論 ミクロ解剖学 スポーツ精神生理学 スポーツ認知心理学 画像医学 スポーツ医科学における筋骨格系のMRI
	健康 スポーツ コース	フィットネス産業論 フィットネス経営論 健康社会学 スポーツカウンセリング 循環器リハ ビリテーション フィットネスプロモーション実習 健康スポーツ指導法実習 運動処方実習 高齢者運動指導実習 運動療法論 生涯スポーツ論 スポーツ医学A（内科系）スポーツ医学B （外科系）コミュニティスポーツ論 スポーツ傷害評価論 スポーツサービス論 スポーツ政策 論 スポーツ消費者行動論 スポーツ市場解析法
	トレーナー コース	リコンディショニング実習A リコンディショニング実習B リコンディショニング実習C ア スレティックトレーナー論・実習 スポーツ傷害評価論 スポーツ傷害評価実習（基礎）スポ ーツ傷害評価実習（応用）ストレッチング実習 スポーツマッサージ実習 トレーナー実習 コン ディショニング実習 リコンディショニング論 コンディショニングデザイン論 コンディショ ニング指導実習 スポーツ政策論 フィットネス産業論 スポーツ指導論

スポーツ科学部コース 参考資料

スポーツ文化学科

スポーツ文化コース

本コースでは、最広義にとらえられたスポーツを人文社会科学的に研究することを通して、スポーツが人間存在に対して持つ意義や文化としてのあり方などについて論じることのできる人材の育成に努める。また、スポーツ本質論の上に現代社会におけるスポーツのあり方について提言するスポーツジャーナリストの養成にも本コースは対応する。

スポーツビジネスコース

このコースでは、スポーツに関する幅広い知識の学習とともに、社会調査やスポーツマネジメントに関わる実習によってスポーツビジネスの場で活躍できる専門的技能を習得し、その基礎の上に、マーケティング・メディア・イベント・用品・施設などスポーツ産業の諸現象について分析できる人材の育成に努める。

スポーツ教育コース

本コースでは、スポーツ教育に関わる幅広い知識と指導技術とを身につけてスポーツの多様な実践現場で他者を適切にサポートし得る人材の育成に努める。今日スポーツ教育が展開する場は、学校を越えて広く社会に及び、またスポーツ教育を必要とする人も健常者のみならず障害者に、さらに発育期の若者と共に中高年者に及んでいる。本コースは、こうした生涯スポーツの諸場面において教育・指導を介して他者のスポーツ実践を支えることに対応するものである。

トップパフォーマンスコース（トップパフォーマンスコースはスポーツ医科学科、スポーツ文化学科いずれにも所属しても選択することができます。）

本コースでは高いレベルのパフォーマンス更新を目指し、医科学科・文化学科の壁を越えてスポーツスキルの構造と向上のメカニズム、トップアスリートにおけるパフォーマンス向上に関わるコーチングの理論と方法、技術・戦術分析法など実践的知識について学び、その成果を競技スポーツ教育の場においても展開しうる能力を持った人材の育成に努める。

2009年度 スポーツ文化学科 学科専門科目 紹介

学科指定科目		スポーツ文化論 スポーツ社会学 スポーツ産業論 スポーツ経営学 スポーツ教育学 スポーツ史 スポーツ法学 スポーツ経済学 スポーツ方法学 スポーツコーチ学
コース 基礎科目	スポーツ文化コース	スポーツ文化基礎演習〔必修〕スポーツ人類学 舞踊文化論 スポーツ調査実習 武道論 スポーツとメディア
	スポーツビジネスコース	スポーツビジネス基礎演習〔必修〕スポーツビジネス論A（メーカー）スポーツビジネス論B（メディア）スポーツビジネス論C（サービス）スポーツビジネス論D（プロスポーツ）スポーツマーケティング論 スポーツサービス論 スポーツビジネス実習 スポーツ行政論
	スポーツ教育コース	スポーツ教育基礎演習〔必修〕スポーツ授業指導実習：授業デザイン スポーツ教授学 スポーツ指導論 学校体育行政論
	トップパフォーマンスコース	トップパフォーマンス基礎演習〔必修〕トップパフォーマンス概論 スポーツ運動学 コーチング心理学スポーツ倫理学 スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス メンタルトレーニング スポーツ指導論 テーピング実習 救急処置法実習 スポーツ医学A（内科系）スポーツ医学B（外科系）スポーツ行政論 ストレッチング実習 スポーツマッサージ実習 スポーツ政策論
コース 専門科目	スポーツ文化コース	身体技法論 スポーツジャーナリズム スポーツ倫理学 遊戯論 スポーツ哲学 スポーツ思想史 武道文化論 現代ダンス論 比較舞踊論 舞踊技法論 比較格闘技論
	スポーツビジネスコース	スポーツ組織論 スポーツツーリズム論 企業論 マーケティング論 スポーツ消費者行動論 スポーツ市場解析法 広告論 スポーツファシリティマネジメント 保険論 スポーツデザインマネジメント論 スポーツファイナンス 地域スポーツクラブマネジメント スポーツ政策論 会計実務論 フィットネス産業論
	スポーツ教育コース	測定評価演習 生涯スポーツ論 フェアプレー教育論 オリンピック教育論 コミュニティスポーツ論 学校保健 精神保健概論 スポーツ指導法実習（水泳、器械運動、陸上競技、球技、武道、ダンス、等13種目）スポーツカウンセリング コンディショニングデザイン論
	トップパフォーマンスコース	トップパフォーマンスコーチング論 トップパフォーマンス戦術戦略論 トップパフォーマンス技術論トップアスリート論 トップパフォーマンスコーチング実習 トップパフォーマンスサポート実習 トップパフォーマンス実習 トップパフォーマンス実習 トップパフォーマンス実習 運動制御論 スポーツ指導法実習（水泳、器械運動、陸上競技、球技、武道、ダンス、等13種目）

スポーツ科学部コース申請用紙

受験番号		現学科	
氏名			

コース登録について

本学部では、1年次終了時に自学科に設置されているコースのいずれかを選択することとなっています。コースによって学科専門科目の扱いが決まりますが、他学科、他コースの科目の履修をすることは可能です。演習の担当教員はコースによる制限はありません。

また、トップパフォーマンスコースはスポーツ医科学科、スポーツ文化学科いずれに所属しても選択することができます。

2年次に転科される方は、別途申請が必要となりますので、下記「スポーツ科学部コース申請用紙」(第2希望の申請も必要です。)の所定欄に希望コースを記入し提出してください。

なお、演習の担当教員は入学年度の秋学期開始までに別途選考が行われます。

申請時注意点

- ・ 転科先学科のコースから1コース選択し、希望欄に を記入してください。
- ・ 一度確定したコースは卒業まで変更できません。
- ・ トップパフォーマンスコースはスポーツ医科学科、スポーツ文化学科いずれに所属しても選択することができます。

スポーツ医科学科

コース番号	コース名	希望
1	スポーツ医科学 コース	
2	健康スポーツ コース	
3	トレーナー コース	
4	トップパフォーマンス コース	

スポーツ文化学科

コース番号	コース名	希望
1	スポーツ文化 コース	
2	スポーツビジネス コース	
3	スポーツ教育コース	
4	トップパフォーマンス コース	

【所沢総合事務センター使用欄】

備考	受付	処理
----	----	----

スポーツ科学部コース申請（第2希望）用紙

受験番号		現学科	
氏名			

重要：必ず確認してください。

転科試験に合格しても転科先の特定のコース希望者が多数の場合、1年次の成績を参考に選考され、その結果第1希望のコースに選抜されない可能性があります。

その際には第2希望のコースに配属されます。転科試験を受験するにあたりこの点も了解した上で手続きを進めてください。

- ・ 出願者全員から第1希望のコース以外に転科先学科の第2希望のコースを確認します。第2希望のコースを1コース選択し、希望欄に を記入してください。
- ・ トップパフォーマンスコースはスポーツ医科学科、スポーツ文化学科いずれに所属しても選択することができます。

転科先学科の第2希望のコースを記入してください。

スポーツ医科学科

コース番号	コース名	希望
1	スポーツ医科学 コース	
2	健康スポーツ コース	
3	トレーナー コース	
4	トップパフォーマンス コース	

スポーツ文化学科

コース番号	コース名	希望
1	スポーツ文化 コース	
2	スポーツビジネス コース	
3	スポーツ教育コース	
4	トップパフォーマンス コース	

【所沢総合事務センター使用欄】

備考	受付	処理
----	----	----